

校長だより

～織部山つれづれ～

その1

4月も終わろうとしています。

遠足もあり、新しいクラスのかたちも次第に見えつつあるように思います。



クラスだけでなく、部活動も新しい力を得て、活動が始まっています。

先日は、吹奏楽部による中庭コンサートが開かれました。昼休みの短い時間でしたが、教室や渡り廊下からも手拍子が起こり、学校中が一つになったコンサートになりました。



吹奏楽部は3年生が夏に引退すると2年生の6人だけになってしまいます。新入部員の獲得は部としての至上命題です。昼休みに行われたこのコンサートでも、1年生に向けての熱いメッセージが送られていました。

吹奏楽部に限らず、新入部員の獲得には力が入っています。吹奏楽部のように、部の存続がかかっている部活動もあるからです。

大きな学校ではありませんが、インターハイに出場した部活動もあります。「努力が実を結んで、大きな大会の出場を決めた」という経験は、生徒たちが前に進んでいく時に背中を押してくれる力になるのではないかと思います。

高校生活では、「勉学に励む」ことはいくつまでもなく最重要事項だと思いますが、それとは異なるフィールドで、「仲間とともに切磋琢磨する」こともまた、自分の未来を拓いていく力になると思います。そして、それは自分の「居場所がふえる」ことにもつながるはずです。

学校生活の中には、生徒たちにとっての「居場所」が実はいくつも存在しています。そして、それを見つけるかどうかは「あなた次第」。

生徒たちには、さまざまなかたちでの「居場所」を見つけてほしいと思いますし、その中に自分を磨いて光らせる場所があってほしいと願っています。

頑張れ!! 大東高校生!!